

# 調整池(防災調整池)容量算定システム

## 排水計画(雨水・汚水)システム

宅地開発などに伴い設置されます排水施設、調整池の計算を必要とされますお客様に多くご利用いただいている製品のご案内です。是非、この機会にご検討賜りますようお願い申し上げます。

### 調整池(防災調整池)容量算定システム

ST版 ¥165,000

EX版 ¥275,000

EX版II ¥275,000

### 排水計画(雨水・汚水)システム

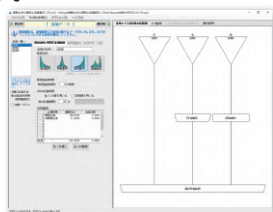
¥165,000

オフサイト貯留施設及び、オンサイト貯留施設の水文設計を行います。降雨強度曲線の作成・洪水到達時間の算定・設計堆砂量の算定・洪水吐・非越流部天端高の計算を行います。

また、降雨強度曲線の作成、洪水到達時間の算定、設計堆砂量の算定、洪水吐および非越流天端高の計算も可能です。

EX版はST版の機能に加え、計画汚水量、計画雨水量の計算を行い分流式、合流式の排水路の流下能力の検討を行うことができます。

EX2版はST版の機能に加え、調整池(調節池)の側壁または堤防の一部を低くし、越流堰とする事により下流の流量を減らそうとする横越流方式の調整池の容量算定を行うことができます。



#### 【適用基準・参考文献】

- 増補改訂(一部修正) 防災調節池等技術基準(案) 平成 22 年 5 月(社団法人 日本河川協会)
- 増補改訂 流域貯留施設等技術指針(案) 令和 3 年 2 月(社団法人 雨水貯留浸透技術協会)
- 増補改訂 雨水浸透施設技術指針(案)調査・計画編 平成 18 年 9 月(社団法人 雨水貯留浸透技術協会)
- 宅地開発に伴い設置される浸透施設等設置技術指針の解説 平成 10 年 2 月(社団法人 日本宅地開発協会)
- 下水道雨水調整池技術基準(案)解説と計算例 昭和 59 年 10 月(社団法人 日本下水道協会)
- 雨水浸透施設の整備促進に関する手引き(案) 平成 22 年 4 月(国土交通省 都市・地域整備局 下水道部、河川局 治水課)

計画汚水量・計画雨水量の計算を行い、分流式・合流式の排水路の流下能力の検討をおこないます。

浸透施設を併用した簡易式による必要調節池容量の計算、排水ます間隔の計算もできます。

#### 計画雨水量

- 流出量：合理式・実験式(ブリックス式)・実験式(ビュルクリーツィーグラー式)に対応
- 平均流速公式：マンニング公式・クッター公式に対応
- 流達時間の計算：等流流速法・土研式(開発前)・土研式(開発後)・角屋式(Kinematic Wave 理論)に対応
- 等流流速法(流入時間の計算)：カーベイ式・直接入力に対応
- 等流流速法(流下時間の計算)：マンニング式・ルチハ式・クラーパーン式・流速の直接入力に対応
- 降雨強度：降雨強度式および固定値に対応

#### 計画汚水量

- 生活汚水量・地下水量・その他汚水量の計算ができます。
- 地下水量は、生活汚水量に対する地下水混入率または、単位地下水量に排水面積を乗じて計算ができます。
- その他汚水量は、営業汚水量など単位汚水量に用途地域別面積を乗じて10種類まで入力できます。

#### 流下能力の計算

- 排水経路は、下流側排水区記号を入力することで連続して入力することができます。
- 流路は、円形断面・矩形断面・台形断面・ハンチ付き矩形断面・ハンチ付き台形断面・三角形断面・U型(隅角部R・隅角部ハンチ・底面R)・自由勾配側溝に対応しています。
- 粗度係数を道路土工に記載の条件より選択することができます。

### お申込み書

FAX送付先 **073-488-9252**

【DM】

年 月 日

商品名	<input checked="" type="radio"/> ご希望の製品に○をおつけください <input checked="" type="checkbox"/> 調整池(防災調整池)容量算定システム(ST・EX・EX II) <input type="checkbox"/> 排水計画(雨水・汚水)システム
お問い合わせ内容	<input checked="" type="checkbox"/> ご希望のお問い合わせ内容に✓印をおつけください <input type="checkbox"/> 資料希望(総合カタログ/出力例) <input type="checkbox"/> 評価版ソフト希望 <input type="checkbox"/> 注文希望
御社名	
ご住所(〒 - )	
部署	ご担当者 <input type="checkbox"/>
電話	FAX
e-mail	お支払日 年 月 日

● 価格は全て税込価格です。● 製品はWEBライセンスによるご提供となりますので、ご利用にはインターネット環境が必須です。● 2年目以降、サブスクリプションサービスの更新(任意)には製品毎に更新費用が必要となります。調整池(防災調整池)容量算定システム ST版(¥33,000) EX版(¥44,000) EX II版(¥44,000) / 排水計画(雨水・汚水)システム(¥33,000)